

平成19年度決算見込みの概要

平成20年8月1日

千葉県水道局 管理部 財務課

■ 決算概要

- 1 平成19年度は、「中期経営計画(平成18年度～平成22年度)」の2年目で、「より良質なおいしい水をいつでも安心して利用できる水道」、「現行料金を維持できる経営基盤の強化」、「お客様により一層信頼される水道」、「地震等の非常時にも強い水道」の4つの施策を基本に事業を実施しました。
- 2 収益的収支決算は、**収入が737億6千5百万円**で、前年度に対し1億8千6百万円増加しました。
これは、新設(家事用)の給水申込が増えたことに伴い給水収益が3億4千9百万円増加、給水申込納付金が5億1千9百万円増加したこと、土地の処分による売却益が7億1千百万円減少したことなどによります。
一方、**支出は641億6千6百万円**で、前年度に対し10億3千6百万円の増加となっています。
これは、高金利企業債の残高を減らしたことに伴い支払利息が3億8千5百万円減少し、柏井浄水場のアスベスト除去工事が終了したこと等で修繕費が4億7千7百万円減少しましたが、ちば野菊の里浄水場の稼動に伴い減価償却費等が13億6千9百万円増加、検針事務、水道料金滞納整理等の委託料が5億2千2百万円増加したことなどによります。
この結果、収支差である**純利益は、95億9千9百万円**となり、この利益は企業債の元金償還に充当するために全額を減債積立金に積み立てします。
- 3 資本的収支決算は、**収入が188億6千7百万円**で、前年度に対し43億2千6百万円減少しました。
これは、公共関連工事等に伴う配水管移設の工事負担金が6億4千4百万円増加しましたが、ちば野菊の里浄水場の建設費等に係る企業債収入が48億2千8百万円減少したことなどによります。
一方、**支出は、553億1千9百万円**で、前年度に対し14億8千2百万円の増加となっています。
これは、ちば野菊の里浄水場の建設費等が80億4千5百万円減少しましたが、高金利企業債を100億4千2百万円繰上償還したこと、浄・給水場施設整備費が22億4百万円増加したことなどによります。
なお、**収入が支出に対し不足する額364億5千2百万円につきましては、減債積立金及び損益勘定留保資金等で補てんし**、平成19年度末の補てん後の資金残高は、246億4千百万円となります。
- 4 また、平成19年度末の企業債残高は、前年度に対し151億5千万円減少したものの、依然として**2,222億5千4百万円の残高**を抱えており、これは年間の水道料金収入約630億円の3.5倍となっています。

※収益的収支 水道水をつくり、営業活動に要した収入・支出の会計です。

※資本的収支 水道施設の整備や新しく建設に要した収入・支出の会計です。

(1) 収益的収入及び支出(消費税抜き)

(単位:百万円)

区 分	平成19年度(A)	平成18年度(B)	増減 (A - B)
収 入①	73,765	73,579	186
支 出②	64,166	63,130	1,036
純利益(①-②)	9,599	10,449	▲850

※ 純利益95億9千9百万円は、全額を減債積立金に積み立てし、ちば野菊の里浄水場や配水管整備事業等に係る企業債の元金償還に充当します。

(2) 資本的収入及び支出(消費税込み)

(単位:百万円)

区 分	平成19年度(A)	平成18年度(B)	増減 (A - B)
収 入①	18,867	23,193	▲4,326
支 出②	55,319	53,837	1,482
収支差(①-②)	▲36,452	▲30,644	▲5,808

※ 資本的収入が資本的支出に不足する額364億5千2百万円は、減債積立金及び減価償却費等の現金支出を伴わない内部留保資金(損益勘定留保資金等)を充当します。

■ 業務の状況

平成19年度は前年度に比べ、年間総給水量が141万9千 m^3 減少しましたが、給水戸数が2万4千戸、給水人口が3万6千人増加したことにより、有収水量が281万7千 m^3 増加しましたので、給水収益(水道料金収入)においても3億4千9百万円増加となりました。

項 目	単位	平成19年度(A)	平成18年度(B)	増減 (A - B)
給水戸数	千戸	1,297	1,273	24
給水人口	千人	2,867	2,831	36
年間総給水量	千 m^3	326,264	327,683	▲1,419
有収水量(収入の対象となる水量)	千 m^3	308,161	305,344	2,817
有収率(有収水量÷年間総給水量)	%	94.45	93.18	1.27
一日平均給水量	千 m^3	891	898	▲7
一日最大給水量	千 m^3	1,002	1,013	▲11
給水収益(水道料金収入)	百万円	63,220	62,871	349
供給単価(1 m^3 当りの売上単価)	円	208.06	208.82	▲0.76
給水原価(1 m^3 当りの製造原価)	円	200.97	199.34	1.63
職員数	人	1,031	1,070	▲39

※上記の数値は、平成20年3月31日現在です。

■ 水道水をお客様へお届けするための収支状況(消費税抜き)

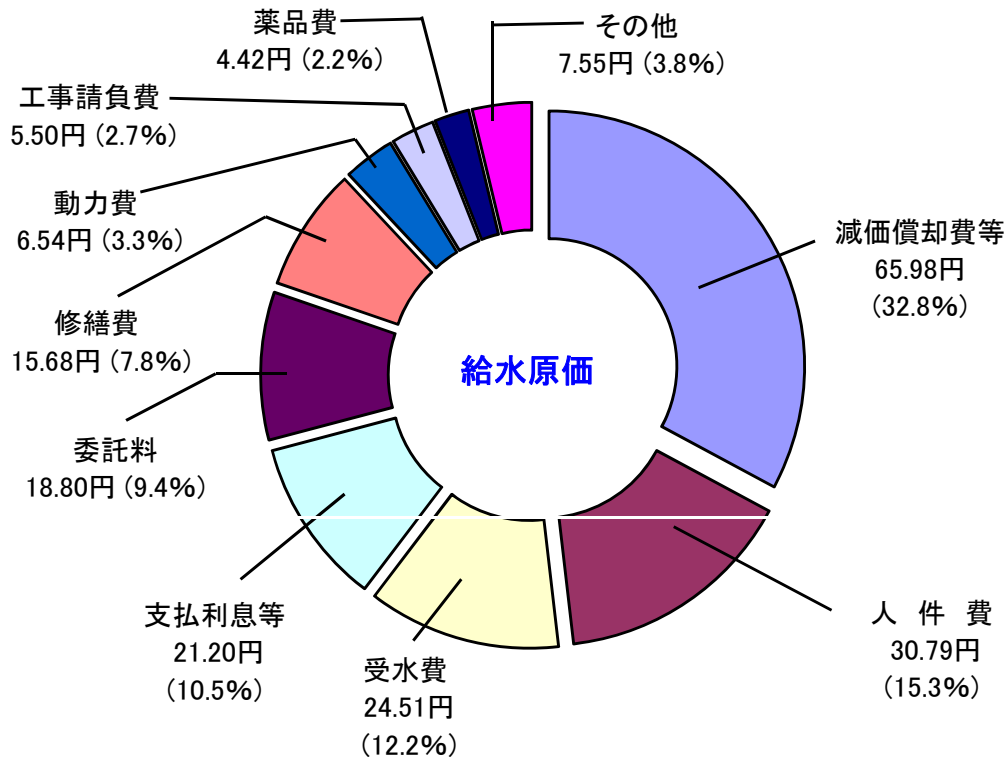
(単位:百万円)

区 分	平成19年度(A)	平成18年度(B)	増減 (A - B)	
収益的収入	給水収益(水道料金)	63,220	62,871	349
	給水申込納付金	6,650	6,131	519
	その他	3,895	4,577	▲682
	計(ア)	73,765	73,579	186
収益的支出(目的別)	人件費	9,914	10,165	▲251
	委託料	5,979	5,457	522
	修繕費	5,105	5,582	▲477
	動力費	2,081	2,043	38
	薬品費	1,407	1,081	326
	工事請負費	1,749	1,850	▲101
	受水費	7,797	7,776	21
	減価償却費・資産減耗費	20,987	20,169	818
	支払利息及び企業債取扱諸費	6,742	7,127	▲385
	その他	2,405	1,880	525
	計(イ)	64,166	63,130	1,036
当年度純利益(ア-イ)	9,599	10,449	▲850	

■ 給水原価の構成(平成19年度に水道水1m³をつくるのに要した費用の内訳)

水道事業は、事業運営にかかる経費のほとんどを水道料金で賄う独立採算制で行っています。

(消費税抜き)



※()内は、給水原価の構成比率です。

[主な構成費用の内容]

- ・減価償却費は、固定資産を耐用年数に応じて期間計算した費用です。
当水道局は他事業体と比較すると給水区域が広域で、保有する資産額が大きいため、費用に占める割合が比較的高くなっています。
- ・人件費は、組織のスリム化や民間的経営手法の導入などに努め、年々減少傾向にあります。
- ・受水費は、用水供給事業者である北千葉広域水道企業団と君津広域水道事業団からの受水であり、総給水量の約20%となっています。
- ・支払利息等は、企業債残高の償還に係るもので、繰上償還により年々減少傾向にあります。
- ・委託料は、浄・給水場の運転管理や検針業務などの委託です。
- ・修繕費は、固定資産に係る維持管理費用です。
- ・動力費は、浄・給水場の電力料金等です。
- ・工事請負費は、給水管更新工事にかかるものです。
- ・薬品費は、浄・給水場の浄水薬品費です。

■ 施設をつくるための収支(消費税込み)

収入の主な内容は、ちば野菊の里浄水場建設費や配水管整備事業等に係る企業債の借入、公共事業における工事負担金の受け入れなどです。

一方、支出については、平成19年10月に稼動した「ちば野菊の里浄水場」の建設費、鉛給水管更新工事、配水管整備事業費及び企業債償還金等です。

(単位:百万円)

区 分		平成19年度(A)	平成18年度(B)	増減 (A - B)
資本的収入	企業債	12,172	17,000	▲4,828
	国庫補助金	956	1,326	▲370
	工事負担金	2,788	2,144	644
	開発負担金	2,557	2,215	342
	その他	394	508	▲114
計(ア)		18,867	23,193	▲4,326
資本的支出	建設改良費	18,482	15,682	2,800
	拡張工事費	7,211	17,366	▲10,155
	企業債償還金	27,323	17,941	9,382
	その他	2,303	2,848	▲545
計(イ)		55,319	53,837	1,482
収支差(ア-イ)		▲36,452	▲30,644	▲5,808

■ 貸借対照表

(単位:百万円)

区 分		平成19年度(A)	平成18年度(B)	増減 (A - B)	
総資産	固定資産	734,222	727,225	6,997	
	流動資産	43,763	52,115	▲8,352	
	繰延勘定	727	738	▲11	
計		778,712	780,078	▲1,366	
負債及び資本	負債	固定負債	20,064	19,275	789
		流動負債	14,409	18,628	▲4,219
		小計	34,473	37,903	▲3,430
	資本	資本金	366,353	370,792	▲4,439
		剰余金	377,886	371,383	6,503
		小計	744,239	742,175	2,064
計		778,712	780,078	▲1,366	

■ 企業債残高

(単位:百万円)

企業債借入先	平成19年度(A)	平成18年度(B)	増減 (A - B)
財政融資資金(財務省)	101,952	109,216	▲7,264
公営企業金融公庫(公庫資金)	100,464	107,770	▲7,306
市場公募債	19,838	20,418	▲580
計	222,254	237,404	▲15,150